

雇用創出グループ

強み	弱み	今後の取り組み(案)
<p><豊かな土地・農業> 農業用地が広大で、水源にも恵まれている</p> <p>農業・造園業などが盛んである</p> <p>周辺に新鮮な魚、野菜、絶品のお米、おいしい肉がある TPPにより、新しい農業に変わる事で地方雇用(新しく)が図られる可能性がある 稲作では、米価格は現状維持となる見込みから大型経営・営農集団に取れんする 近年、農業経験のない若者等が、農業をやりたいという希望がある</p> <p>政策パッケージにある「農林水産業の成長産業化」や「新規就農者への総合支援」の対象となる農業が主要産業である 植木の技術は日本で、地場産業であり、輸出も伸びている 地場産業(植木・造園)は日本一の栽培面積を有し、中国やヨーロッパ向け等の輸出も増加している その他、農業の6次産業化に学生の関心が高く、ある中小企業では県内を飛び越え全国の大学から学生の応募がきているところもある。</p>	<p><農業> 農業後継者が不足しており、人材の確保ができない</p> <p>高齢化が進み、農業粗生産額が低い</p> <p>野菜生産等では、旭市・銚子市とは大きな差がある。 農業で生きて行けるモデルは近隣市町にあると思う。</p> <p>植木産業認知度が低い(日本一を知らない人が多い)</p>	<p><農業> 転入者が新規就農しやすいようにする(家業を継ぐことが困難な場合) 新規就農・就業者へのバックアップと現在、就農している担い手への積極的な厚みのある支援を講じる政策を行い、販売額2,000万円以上の経営体を育成(所得率50%)する 農業の企業経営化を図り、一定規模を確保する 6次産業化を行い、生産→加工→販売まで一連の取り組みを行う アイガモ農法など特化した手法で差別化を図る</p> <p>植木・造園業の更なる成長と雇用創出に向けて、輸出振興に取り組む</p>
<p><立地・インフラ> 成田AP関連企業に通動できる 医療介護施設の設置数は少ない</p> <p>東京などの大消費地、成田空港に近い</p> <p>住むための社会インフラは、確保されている 旭市に中央病院がある</p> <p>銚子連絡道からのアクセスが比較的良い(旭、銚子に比べても有利) 今後圏央道との全面つながりで地の利を得る可能性がある</p>	<p><インフラ> 東京から遠い 都心(都市部)へのアクセスに費用がかかる(本支店間出張など)</p> <p>電車の本数が少ない</p> <p>終電の時間が早い 連合の構成単組(匝瑳市)は、JP・JR関東バス(多古に移転)・大塚製靴・美和電気・千教組と少ない みどり平工業団地が、成田、鹿島と競合している</p> <p>太陽光ソーラーパネルなど雇用とつながらない利用がある</p>	<p><みどり平工業団地> 会社存続のため人材は必要(伝承) どんな会社が入っているか知ってもらう取り組みが必要である 地元高校から入社するケースが少なく、もっと企業を魅力的に見せる必要がある みどり平工業団地へのさらなる工場誘致</p> <p><情報発信> 情報発信を若年世代に任せてやってみる→新しい発想</p>
<p><工業> 工業団地があり、誘致を進め、工業の振興を図っている 「みどり平工業団地」については、28社約900人の雇用がある点は良く、企業誘致に期待できる</p>	<p><雇用> 会社(職場)が少ないので働く場がない 事業主の高齢化・後継者難・人手不足等の課題を抱えている 労働者視点から、労組のとりにくみが都市部に比べて少ない(労働者保護の点で) 雇用に対する具体策が少なく感じる 労働者の視点から、労働組合のない企業に比べると安心して働くことができる環境が少ない</p>	<p><その他> 海浜地区の活性化 医療・介護・サービス・レベルの維持・向上に向けて、人材の確保に取り組む 各企業における労組の確率(自治労) 強みの部分の利用・展開ができていないので、まずは、より明確により詳しく、強みを理解することから始める</p>
<p><自然> 自然に恵まれている(住みやすい) 海があり、夏季のリゾート客の誘致が見込める</p>	<p><観光> 観光産業が少ない 宿泊施設が少ない 開発したのに使われないものが多い(駅、サイクリングロード) 海が活用できていない</p>	
<p><その他> 日本最古の大学がある 匝瑳市の医療・介護施設の設置割合は県内市町村の中でも高いレベルにある。</p>	<p>海岸エリアで、夏の海水浴ができなくなり海岸の活用ができないままになっている</p>	

移住・定住促進グループ

強み	弱み	今後の取り組み(案)
<p><環境(自然・住環境)> 自然環境(海、緑)に恵まれている 匝瑳市の最大の強みは、気候温暖、災害の少なさにある。 恵まれた自然条件のなかで、豊かな生活に欠かせない農業、漁業、畜産等がバランスよく調和していることである。 里山が美しく、緑のいやしがあり、道路沿いの木がきれいである 植木が全国有数産地(松山庭園美術館)である</p> <p>遠浅の九十九里海岸に面して海が近い</p> <p>海岸があり、サーフィンやバーベキューができる 「ふれあいパーク」の農作物が安い (ふるさと納税) (お礼の品)米、野菜、イワシ、鯖、落花生、キンメ、ピーマンドレッシング、ハマグリ、味噌</p>	<p>全てに平均的で特長がない(突出したものがない) 匠磋と聞いて何も思いつかない 雇用がない(産業がない)→移住・定住しない(人口減)→税収がない→社会福祉の衰退 <産業></p> <p>特産物、サービス業がない</p> <p>集落施設設備、観光資源がない</p> <p>福祉や教育の充実がない(若者の老親介護が今後の大問題になる)</p> <p><交通の整備> 車がないと生活できず、インフラ(病院)やアクセス(JR、道路)が整っていない</p>	<p>弱みを強みに変えてオリジナルな自立したまちを構築する 全国レベルで突出したものを創造し自立したまちを創る マイナーなものでもいいので、全国的な認知を得られるものを創造することで、人を引き寄せる 「農・産業を中核としたまちづくり」 ・農業大学の設置→若いも若きも農業に関心のある人を教育する。現代版「開拓民」を全国から募集 ・農業大学を中心に居住区、商業区、教育区、医療区等を整備したコンパクトシティづくり ・6次産業化で地域内経済を循環させ、雇用を促進する(担い手も育成する)</p> <p>モノ、産業のブランド化→ブランドの開発(農産物、加工品、6次産業)</p> <p>日本一のグランドゴルフ場を創る(日本一難しいコース設定) マイナースポーツのレース場を創る。(マウンテンバイクのレース場、ゴーカートレース場(自転車レースも可能なもの) クロスカントリー競技場等々、競技人口は少ないがスキ間をねらった施設づくり。</p>
<p><人の気質> 市民が誇りをもっている</p> <p>団結力が強い</p> <p>おすそ分けの精神</p>	<p>バス・電車の本数が少ない 匝瑳市の認知度が低い</p> <p><おもてなし施設がない></p>	<p>強み→九十九里ホームを中核とした福祉都市づくり 老親介護のため、家族と一緒に匝瑳市に移住することにより、安心な介護を受けることが出来る仕組みづくり。 あえて「ふりがな」を付けずPR→問い合わせてもらって、その時に詳しくPR</p>
<p><歴史と伝統がある> 女みこしが有名 オハヤシ付のみこしはめずらしい 祭りが盛り上がる 日本最古の大学がある 飯高寺の木が高く、歴史を感じる</p>	<p>集落施設設備がない 商店街のシャッターが閉まっていることが多い 駅の南側がさみしい BBQぐらいしか遊ぶところがない 宿泊するところがない(特にホテル) 飲み屋が少ない</p>	
<p><その他> (市の)名称 匝瑳市 空き家が多い(選択肢が多い) 民宿が安い 高校がある 弓道が強い(匝瑳高)</p>	<p><その他> 海沿いの自転車道の利用者の少なさ 砂浜が無い 空屋が多い(1,300戸) 大学がない</p> <p><危機感がない> スピード感がない 保守的で排他的 リーダーが少ない(いない)</p>	

結婚・出産・子育てグループ

強み	弱み	今後の取り組み(案)
<p>住みやすい自然環境にある</p> <p>地震・津波・水害などの自然災害が近隣市町に比較して少ない 南は九十九里海岸から始まり、中部は平らな田園地帯で緑豊かな植木が多い、 北は台地で里山や飯高壇林などがあり、全体としてバランス良く、家族で楽しめる場や心を癒してくれる自然豊かな環境がある</p>	<p>「出産」</p> <p>産婦人科の病院が少ない 一人目は出産後、商品券がもらえたが二、三人目はなかった</p> <p>健診代が高いし、健診時間は午後が多く、子供が眠くてぐずってしまう</p>	<p>「〇〇のまち匝瑳市」キャッチフレーズ、トラックアート※若者、子育て世代に魅力がある市 若い人が住みたいと思えるような市、まちづくり 経済的支援の継続・拡充をする。</p>
<p>＜出産・子育て＞</p> <p>出産費用が都心に比べ少ない 第3子以降の保育料無料化、第3子以降の給食費減免、チャイルドシートの購入費助成、放課後児童クラブの設置、つどいの広場の設置 こども医療費無料化 敷地内の同居であればよい。2世代近くにいるだけで助かる 保育園の待機児童が少ない 娯楽がないから、非行にはならない 保育園の待機児童が少ない。 耳鼻科・皮膚科の充実 老人が多い→同居は大変だが、子供を安心して育てられる。親だけでなく祖父母も一緒に子どもをみるだけで助かる。余裕ができる。</p>	<p>母親学級の開催日数が少ない 双子の手当がない 初産婦の数カ月は家事や食事が大変なので、それをフォローできる割引クーポンや宅食がない</p> <p>「子育て」</p> <p>オムツ券がない(旭市では支給している) 病児保育がない(小児科・夜間救急がない) 教育コストの増大 所得税に関係なく母子手当の支給がない 頼れる人がいないので、家に来て育児を手伝ってくれる制度がない 小さい子と出かける場所が少ない((平日・土日・年齢問わず室内で遊べる場所))</p>	<p>(出産・子育て)</p> <p>安心できる出産・小児医療体制の充実 子供のいない家庭の把握←不妊治療の助成 現在行っている出産・子育ての経済的支援を継続すると共に拡充をする。補助金について。出産のお金、保育料(一人目、二人目、三人目) 自然を生かした教育をする。青空教室など…。 病児保育の開設 金銭的な補助 予防接種、オムツなど、健診代 人的サポートがあり、気軽に預けられる施設、一時保育の充実 保育ママ(ベビーシッター)、チャイルドマインダー 交流の場、遊べる場、つどい、公園、施設 働く場所(パートでも)</p>
<p>＜結婚＞</p> <p>婚活の支援事業が実施されている。</p> <p>家や庭が広い 2世代同居。敷地が広い</p>	<p>「子育て」</p> <p>ブル・公園(じゃぶじゃぶ池)・室内遊びの充実が乏しい 不要な子供服・おもちゃ・余ったオムツなどを引き取り、必要な家族に無償か有償で引き渡せる場がない 買い物できる場所が少ない 子供の遊び場があるレストランが少ない</p>	<p>子育ての環境整備 男性も育児を分担することの重要性を中・高生の時から教育する</p> <p>保育園土日解放(室内も)</p>
<p>結婚に対する価値観が変化している。女性の雇用環境が変わり、経済力が高まって、生涯未婚の考えが多い。 社会の多様化によって出会いの場が少ない。(昔は青年団活動が活発で出会いが多かったが、現在は若い人の活動が変化し、偏っている) また、職場も男性だけ、女性だけのかたまりで、男女話し合う場が少ない</p> <p>女性が求める結婚相手の所得が低い。民間調査では、女性が求める相手の年収は300万以上であると言われている。 子供を産み育てる養育コストの増大。出産してから保育園、小・中・高・大学と養育費が莫大であり、二人目・三人目と生みたいけれども経済的に一人であきらめる傾向にある</p>	<p>0～3歳児の習い事ができる場所が少ない</p> <p>気軽に預けられる託児所妊婦さんなどがいない、一時保育に気軽に預けられない、少しの時間預けられるところがない</p> <p>保育園の一時預かりに持っていくものが多すぎる(オムツやバスタオル、着替えなど、園で用意して欲しい。その分使用料で調整するなど) 道路の整備(道が狭い。歩道がない。ベビーカーで散歩できる場所が少ない。草が伸びていて困る場所がある)</p> <p>田んぼ・用水路などにガードレールが少ない</p>	<p>(結婚)</p> <p>市域を超えた婚活事業の展開 年5回実施している婚活にもっと参加してもらえるよう関係機関・関係団体・企業・事業所などをお願いをする。 企業に対し職場結婚を推奨し、結婚後も出産後も処遇を維持するよう働きかけをする。</p> <p>結婚後、同居ではなく夫婦2人で住めるように賃貸等の優遇措置をする</p> <p>結婚をあ押しする人の確保</p>
	<p>＜結婚＞</p> <p>結婚に対する価値観が変化している。女性の収入がある 女性の求める結婚相手の所得が低い 婚活事業知らない人も多く、婚活イベントの告知が弱い 男性も育児を手伝う→中学生から教育していない パツ1専用のイベント、優遇サービスが少ない</p>	<p>広く色々な人に周知できるように、市民に対する施策の十分な広報 FBや婚活誌の発行、独身への郵送、テレビ、トラックアート、ツイッターや広報誌による情報発信</p>